

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

**警告**

- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。

**注意**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 門柱の施工については、門柱同梱の取付説明書にしたがってください。
- 指定寸法は必ず守ってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

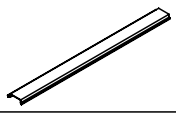
<施工上のご注意>

**注意**

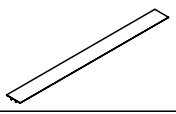
- 受け門柱溝化粧材の取付けは、受け門柱に錠受け部品を取付け後に行ってください。尚、受け門柱の施工方法は受け門柱セットに同梱されている取付説明書を参照してください。

■梱包明細表

【1】受け門柱 化粧材セット

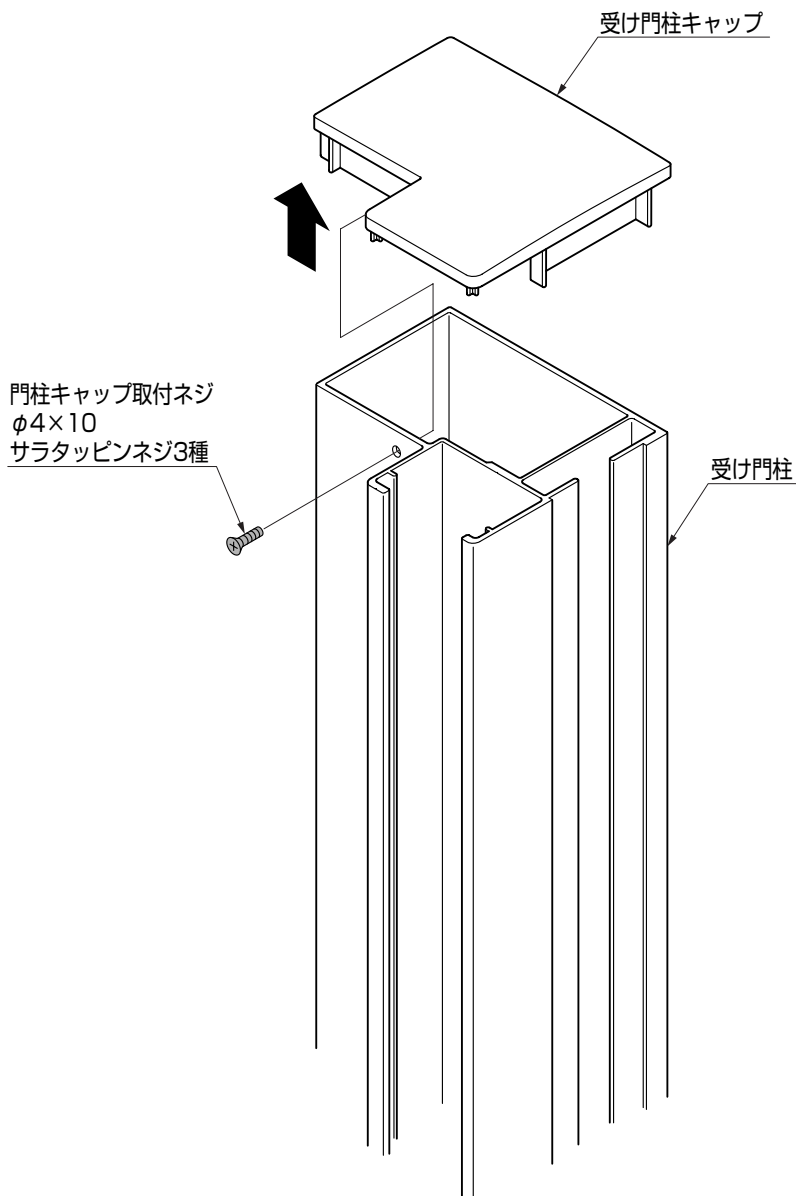
名 称	略 図	員 数
錠フロント溝化粧材		1

【1】受け門柱 化粧材セット (つづき)

名 称	略 図	員 数
錠受け溝化粧材		1
取付説明書 (A496)	—	1

1. 化粧材の取付け

1-1 受け門柱キャップの取外し



①門柱キャップ取付ネジを取外し、受け門柱キャップを上方へ外してください。

補 足

●門柱キャップは 1-2 溝化粧材の取付け後に元のとおり取付けを行ってください。

1-2 標準門扉への溝化粧材の取付け

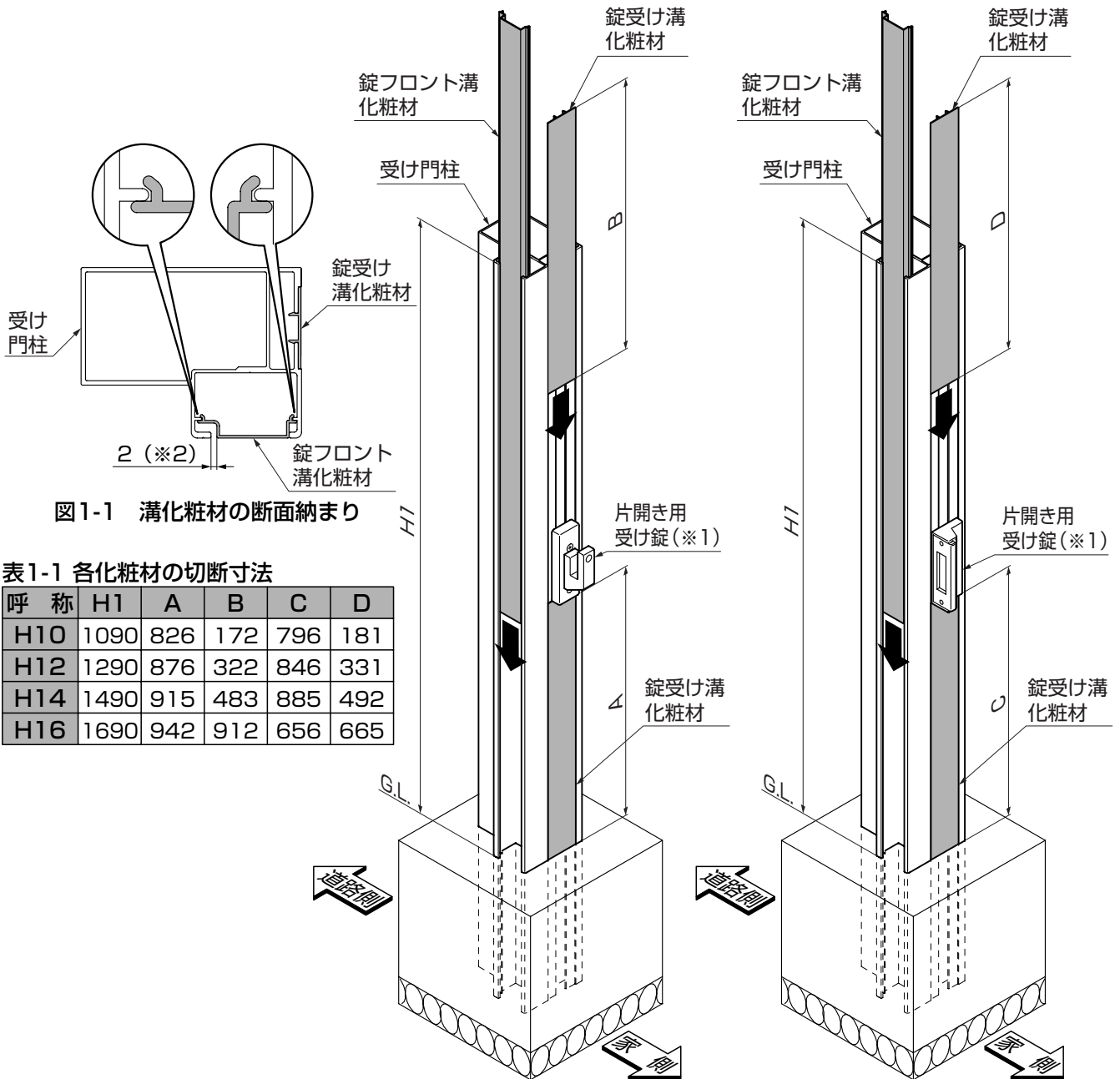


図1-1 溝化粧材の断面納まり

表1-1 各化粧材の切断寸法

呼称	H1	A	B	C	D
H10	1090	826	172	796	181
H12	1290	876	322	846	331
H14	1490	915	483	885	492
H16	1690	942	912	656	665

図1-2 アーム錠 (RD.U) を使用の場合

図1-3 ラッチ錠 (RJ,RT,UT,RB) を使用の場合

- ① 錠フロント溝化粧材を施工後の受け門柱の高さ (H1 の長さ) に切断し、受け門柱上方から門柱にスライドして取付けてください。(図1-1参照)
- ② 錠受け溝化粧材を施工後の受け門柱の高さ (A、B、C、D の長さ) に切断し、スライドして取付けてください。(図1-1参照)

ポイント

- それぞれの化粧材は、表1-1の寸法に従って切断してください。
- 片開き用受け錠 (※1) の取付けは、それぞれの錠の取付説明書を参照して行ってください。

補足

- 受け門柱と錠フロント溝化粧材には2mm (※2) のすきまができますが、これは戸当りを取付けるためのものです。
- ③ 1-1 で取外した受け門柱キャップを元のとおりに取付けてください。

1. (つづき)

1-3 Dスタイル門扉への溝化粧材の取付け

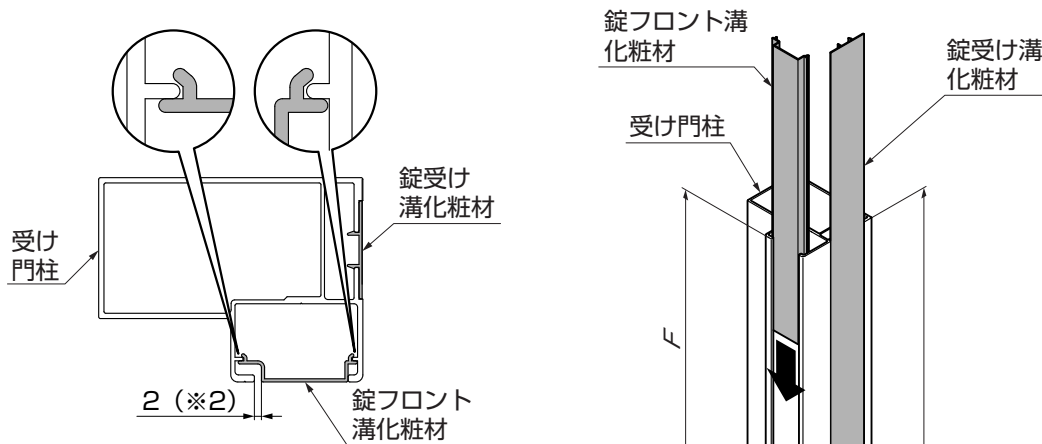


図1-4 溝化粧材の断面納まり

表1-2 各化粧材の切断寸法

呼称	H2	E	F	
H12	通常門扉	1290	856	294
	YA型門扉	1290	844	306
H14	通常門扉	1490	895	455
	YA型門扉	1490	883	467

ストライク(※3)

道路側

家側

- ①錠フロント溝化粧材を施工後の受け門柱の高さ(E、Fの長さ)に切断し、受け門柱上方から門柱にスライドして取付けてください。(図1-4参照)
- ②錠受け溝化粧材を施工後の受け門柱の高さ(H2の長さ)に切断し、スライドして取付けてください。(図1-4参照)

ポイント

- それぞれの化粧材は、表1-2の寸法に従って切断してください。
- ストライク(※3)の取付けは、Dスタイル用錠前(DS錠)の取付説明書を参照して行ってください。

補足

- 受け門柱と錠フロント溝化粧材には2mm(※2)のすきまができますが、これは戸当りを取付けるためのものです。
- ③ 1-1 で取外した受け門柱キャップを元のとおりを取付けてください。

取説コード

A496

JZZ619453C
201001A_1001
201607E_1049